

ITOSUGI

いとすぎの丘



オープンキャンパス2014



いとすぎ祭

日赤看護学会報告



赤十字の理念「人道」と看護職者が「人間らしく生きる」患者を支援する看護のこころは共通！

「看護のこころ」は、薄井坦子先生から、本学看護学生へ特別講演「今、語り継ぐ看護のこころーサイエンスとアートが融合する世界を目指してー」として受け継がれた!!!



体育祭

■ 学生生活

- いとすぎ祭・体育祭
- 日赤看護学会報告
- 新入生合宿研修
- イギリス語学研修
- クラブ紹介
- RCT☆LINK

■ 大学の活動

- オープンキャンパス2014
- 研究の窓
- 後援会の活動

■ 10周年記念事業

- 寄付者御芳名録

■ Information

いとすぎ祭

仲間との繋がり

第11回いとすぎ祭実行委員長 3年 吉野 杏菜

第11回いとすぎ祭は、「繋~LINK~」をテーマに準備を進めました。3日間通して開催されたいとすぎ祭は天気にも恵まれ、東日本大震災の時ご活躍された石井先生の講演会や、エンターテイナーのウマッチョさん、アーティストのRAMWIREさんなどが出演してくださったステージ、他にも赤十字ならではの企画やテーマに沿った新企画など充実しており、多くの学生や来場者の方に参加していただくことが出来ました。このテーマは、あえて「何かと繋がる」かを示さないことで、いとすぎ祭に参加して下さった方が色々な繋がりを自由に感じてもらうことができたのではないかと思います。

実行委員長として、まとめるというのは大変でしたが、私自身このいとすぎ祭を通して「仲間との繋がり」を一番感じる事が出来ました。準備の段階でも、当日の慌ただしい状況の中でも、力になってくれたのは仲間達でした。時には意見がぶつかり合うこともありましたが、実行委員みんながいてこそ、そして1人1人が頑張ったからこそ、いとすぎ祭の成功に繋がったのだと思います。今後も仲間との繋がりを大切に、いとすぎ祭を盛り上げていってくれることを期待しています。



体育祭

体育祭を終えて

体育祭 実行委員長 3年 小澤 美月

毎年、五月の第4週目に開催されるいとすぎ祭の初日にある体育祭は、大学内の学生間の親睦を高めるものであると同時に、新しく入ってくる新入生とのコミュニケーションをはかるイベントです。異なる学年同士のチームでいくつかの競技に参加することによって、チーム内だけの関係ではなく、共に競い合った選手とも友好関係を深めることができます。この関係が今後の大学生活を充実したより良いものを作り上げていくきっかけにもなり、また、競技には学生だけでなく、学内の先生方にも参加して楽しんでいただいています。大学の先生方とは、普段関わりを持ちにくいですが、このようなイベントをきっかけに、先生との信頼関係の形成の1つにもなります。

今年の体育祭では、昨年の問題点を改善し、各学年が満足できるものをつくりあげてきました。実際に、参加した学生からの意見も好評であり、今後の発展を願っています。

日本赤十字看護学会

第15回日本赤十字看護学会 学術集会を終えて

大会長 大西 文子

本学術集会は、2014（平成26）年6月14日～15日、本大学において、赤十字の理念「人道」に共通する「看護のこころ」は、「人間らしく生きる」患者を支援する人間としてのこころです。そこで、「ヒューマンケアリングを育む機会」として、メインテーマを「看護実践におけるヒューマンケアリング」と題して開催しました。全国から、354名（会員227名、非会員86名、学生41名）にご参加いただき、一般演題発表は109題（口演53題、示説56題）、でした。心より感謝申



シンポジウム：看護実践にあるヒューマンケアリング



安酸史子先生による基調講演

し上げます。プログラムは、会長講演「看護のこころを育む実践」をもとに、「経験型実習教育」を提唱されている安酸史子先生による基調講演「経験型実習・教育が育むヒューマンケアリング」、医療経営学の専門家の立川幸治先生による教育講演Ⅰ「経済効率と看護のこころ」、片岡笑美子先生による教育講演Ⅱ「医療にかかわる人材育成のためのコーチング」、守田美奈子先生・宮坂佐和子先生・谷口理恵先生によるシンポジウム「看護実践にあるヒューマンケアリングへの気づき」、薄井坦子先生による特別講演「今、語り継ぐ看護のこころ—サイエンスとアートが融合する世界を目指して—」が予定通り行われました。日頃行っている看護実践の中にあるヒューマンケアリングに看護職者自身が気づく機会となったという声が多く聞かれ、本学術集会の役割を果たすことができ、一安心しております。

日本赤十字看護学会

日本赤十字看護学会を通して感じたこと

3年 緒方 亜季

今回本学で、日本赤十字看護学会が開催されることになり、初めて学会という場に参加させていただきました。当初、自分にその内容が理解できるのか、緊張もありましたが、これから看護の場で働く者として多くのことを学ばせていただきました。



特別講演を拝聴する看護学生たち

どの講演も、患者さんにとってより良い看護を提供すること、看護師がより良い環境の中で働いていくこ



薄井坦子先生による特別講演

と、そして地域の中で良い病院を作り上げることを念頭に、日々のケアの中から、アイデアを持ち寄り考え出された結果が、学会に集約されておりました。

現在医療に限らず、労働人口の減少が取り沙汰されている中、人員の確保と看護の質をテーマとした話題が多く、限られた人数の中で、より良いケアを提供していくことの難しさを感じました。その為、病院の経営者や管理者だけではなく、看護を行う一人ひとりが、日々向上心を持って協力し、改善していく事の大切さも実感することができました。

秋からは実習が始まりますが、視野を広げ、よりよいケアについて考えていきたいと思っております。

新入生合宿研修

仲間とともに

1年 池 彩香

一枚の白い紙に大きな桜の木が咲き誇った。

4月の新入生合宿研修において「学生生活で大切にしたいこと」について話し合い、発表するために、私たちのグループは、自分の意見を花びらに書いて見事な桜の木にまとめた。



初対面のメンバーは、はじめ、みんな沈黙してしまい、戸惑ったが、自分の意見とその理由を付箋に書いたことで、思いの外、様々な意見が出た。そこから、「人、自分、能力」という3つの大きな軸があることに気づき、木という形で視覚的に分類することを見出した。看護という大きな幹から、この3本の太い枝が分かれ、それぞれの枝には、人との出会い、信頼関係、自己責任、自己管理、自分の持つ能力、鍛えるべき能力など、メンバーの思いの詰まった花が咲いた。

この桜の木を作り上げる過程で、私たちは各々の意見をまとめて、人にわかりやすく伝えることの難しさと重要性も学んだ。だからこそ、私たちの桜の木ができ上がった時、大きな達成感を味わった。

この新入生合宿研修でのグループ活動は、まさに、桜の木を仲間と一緒に植えるような経験になった。これから4年間、一日一日充実した学生生活を送るとともに、この桜の木が満開になるように、育てていきたいと考えている。

イギリス語学研修

「語学研修を終えて」

1年 杉山 和香奈

私たちは長期休暇を利用し、語学研修として約3週間、イングランド南西部にあるプリマスという港町に行ってきました。今振り返ってみると、現地での生活はとても充実し、長いようで短い時間を過ごしたと感じています。

平日の午前中は語学学校で会話や文法、リスニング、発音などを学び、午後はプリマス市内の診療所やホスピスを訪問させていただきました。他にも、イギリス



プリマスのホスピスにて

の文化であるアフターヌーンティを味わったり、イギリスの食事が楽しめるパブへ行ったり、様々な体験をすることができました。

また、ホームステイを通じて、日本との違いや共通点を見つけることができたという点で、現地の習慣にならって生活したことはとてもよい経験になったと思います。

この語学研修で、日本の歴史や習慣を見つめ直すきっかけができました。海外との違いや共通点を学び理解することはこれからますます必要とされてくると思います。広い視野、興味を持って物事に取り組んでいくことが大切だと学びました。

クラブ紹介

～軽音サークル～

3年 前 詩苑

私達軽音サークルは、初心者・経験者問わず活動しているサークルです。部員のほとんどが大学からはじめた初心者が多いですが、経験者や先輩が弾き方などを丁寧に教えてくれるので、初心者でも入りやすいサークルになっています！

主な学内活動としては、バンドを結成して本校の学祭「いとすぎ祭」でステージ発表をしたり、毎年開催されるオープンキャンパスでミニライブも開催しています。



ライブハウスで演奏



いとすぎ祭ライブ

学外でも活動しているメンバーは、駅前で弾き語りなどの路上ライブを行ったり、本格的なバンドはライブハウスでライブも行ったりしています。

また、バンドにとらわれず、授業間の空きコマに楽器を触りに来たりするメンバーもいたり、基本的に各自好きなことが出来る、そんな軽音サークルになっています。さらに、毎年学年間の親睦を深めるための新入生歓迎会を開催し、他学年との交流の機会も多く設けています。

そして、まだこれは予定ですが、全学年サークルメンバーを巻き込んだ、学外ライブを来年には企画予定です！！

勉強や実習が多いですが、その合間を縫いながら、息抜きもしつつ、私達軽音サークルは活動しています！

RCT☆LINK

伝えたいこと

2年 榊原 開斗

東日本大震災から約三年半が経過しました。私は夏休みを使って防災サークルの仲間と被災地である東北へボランティアに行ってきました。東北に行くのは二回目です。去年は、メディアでしか見たことがないような、津波に街ごとのまれた場所を視察しました。その時の衝撃、恐怖心は今でも頭に残っています。また、津波を実際に見た人、流された人の恐怖心、精神的なダメージは計り知れません。今年、仮設住宅の一室をお借りして寝泊りし、被災した漁師さんたちの仕事



海鞘養殖のために牡蠣のから刺し作業所にて



(海鞘養殖のための牡蠣のから刺し作業など)を手伝う活動をしました。作業をした浜辺の景色は去年と何も変わらず、中心部から離れた海辺の復興はまだまだ進んでいない印象でした。しかし、津波のことを昔話のように語っていたり、「お前の車、流されたっけか」と笑い話のように話されている仮設住宅の方々からは、再生に向かうエネルギーを感じました。去年の体験からは想像できない話に、人の心は少しずつ回復していること、人間の力強さを実感します。

二回のボランティア活動を通して、被災地に行くことでわかること、感じることは多くあることを強く感じます。これからも、わずかな力ではあるけれど、東日本大震災の被災地の現状を伝え、少しでも興味を持ってもらえるよう、少しでも災害を自分のこととして考えてもらえるよう活動をしていきたいです。

Next RCT☆LINK

⇒2年生 大宮友梨恵さん

オープンキャンパス2014

オープンキャンパスに参加して

4年 原田 実歩

「看護大学ってどんな所だろう」と緊張してオープンキャンパスに訪れたことを今でも覚えています。参加したオープンキャンパスでは、実際に学生の方と話す機会があり、親身になって相談にのってくださいました。高い目標を持ち、日々勉学に励んでいる先輩方の姿が深く印象に残っています。あれから月日は流れ、今では看護師になりたいと思う高校生を迎える立場になったことを驚いています。

オープンキャンパスでは、大学内の施設や学生生活を紹介するキャンパスツアー係を担当しました。ツアーでは、看護大学ではどんなことを学んでいるのか、どんな学生生活を送っているのかを話し、大学内を案



内しました。参加してくれた高校生は、興味津々に学内を見学し、ツアー後には「ありがとうございました。これから頑張っていきます」「勉強をこれからも頑張ります」と口にする参加者もいて、とても嬉しく思いました。

参加者の中から、看護師を目指す学生が同じ大学で共に勉学に励むことができることを楽しみにしています。



研究の窓

銅の殺菌効果の応用を考える

成人看護学 教授 東野 督子

新潟大学、ドイツ留学、上越教育大学大学院を経て、愛知県で看護師免許を取得する。がんセンターで勤務した後、2004年から現大学へ着任した。9年間の研究結果をまとめて2014年に博士（看護学）を修めた。看護職を目指すきっかけは実家が医院であったため。現在、院内感染防止に役立つ銅の殺菌効果に関する臨床における実証研究に取り組んでいる。

【銅の殺菌効果と研究】

銅は、必須微量元素といわれ、体内には、約80~100mgあり、ヘモグロビンの形成、骨の形成強化、皮膚の健康維持などに不可欠なミネラルである。最近、銅の環境表面での殺菌効果があることが分かってきた。

病院においては、治療によって防御機能が低下している患者の方が入院しているため、清潔な療養環境を提供することが望まれてはいるが、治療処置に伴い血液や体液などの汚染はつきものであり、病原微生物は、療養環境に長期間生存する。

たまたま、自身が開始した実験で、銅や真鍮に付着した細菌がすべて死滅していることを知り、体が震え

るほど驚いた。これをきっかけに、材質の違いや湿度の違いにより病原微生物の生存期間に差があることが考えられ、改めて調査・研究を進めた。

一方で、銅や真鍮に付着した病原微生物は数時間で死滅する報告 (Noyce et al.,2006) や、米国では、環境保護省(2008)が「銅、真鍮、ブロンズなどには殺菌作用がある」ことを認可した。実験条件や期間、研究の視点には差があるが、同様の研究に関心をもって進められる先生方の存在を知った。日本においては、まだ実験室の次の段階（臨床における実証研究）での成果を示すデータを求められる状況にある。そのため、「医療関連感染を低減するための銅の活用に関する研究」として、療養環境の細菌汚染をどれだけ削減できるかを実証する研究に取り組んでいる。



第40回日本看護研究学会の口演発表前に確認（奈良2014年8月）

後援会の活動

平成26年度後援会 会長挨拶

後援会 会長 鈴木 秀樹

今年度も後援会会長を勤めさせていただき鈴木です。どうぞよろしくお願いいたします。

平素は後援会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。毎年の繰り返しではありますが、2011年の大震災後の日本赤十字社の直接、間接にわたる支援活動につきましては、日本赤十字豊田看護大学に子供を学ばせている親として、大変誇りに思うところです。

後援会活動の主幹は「いとすぎ祭」への支援です。『繋～LINK』のテーマの下に取り組んだ今年度の「いとすぎ祭」でしたが、今年はスケジュールを配慮していただき、例年後援会役員会、総会と重なり参加できなかった講演会に参加でき、非常に有意義な時間を過ごすことができたことに感謝しております。

震災時に石巻圏合同救護チームを統括された石井正医師の講演『石巻医療圏における東日本大震災への対応と次への取り組み』を拝聴でき、あらためて3年前の震災をまざまざと思い出し、救護支援活動の重要性を認識させられるとともに、赤十字に関わるものとしての使命感をひしひしと感じることができました。

さて、私事になりますが長女は無事国家試験を乗り

越え、この4月から看護師として赤十字病院に勤務しております。医療現場は学生時代以上の日々のたゆまぬ学習と研鑽が要求されるようです。しかしながら、良き先輩に恵まれたこともあり、人の命に関わる仕事の厳しさに心折れそうになりながらも、なんとか頑張っています。3年生の次女も、いよいよこれから一年間は実習の連続となり、膨大なレポートとの格闘で、もう大学生活を満喫というわけにはいきません。親としては娘たちに何らかのサポートができればと思っています。

最後に、近年病院で看護師に求められるレベルの高い専門性に加えて、医療における国際的な協力体制の必要性など、看護師の位置づけは大きく変化しており、幅広い教養をもち人間としても尊敬される人材、さらに国際的な感覚を持った広い視野が、看護師にも求められてきています。こういった要望を身につけていくことは、厳しいものがありますが、理想の看護師を目指して不断の研鑽を続けてほしいと考えます。

後援会も学生の成長、そして大学の発展に貢献できるよう、これからも努力していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



平成26年度後援会役員一同

寄付者御芳名録

皆様からのご支援により開学十周年記念事業も滞りなく進展しまして特に、寄付金では総額2,300万円程のご支援をいただきました。この金額を基に実習先での患者への対応が容易になるようにトレーニング用としてコンピュータ制御の人形を整備しました。また、講義で使用する教育資料のうち映像部分がより鮮明になるプロジェクタ・モニターの整備等実施しまして今まで以上に教育効果をあげることができています。誠にありがとうございました。

【個人】

青木 綾子 様	青山佳央理 様	浅井 美希 様	安藤恒三郎 様	安藤 直樹 様	安藤 雅樹 様
石黒 士雄 様	石山 三郎 様	伊藤 康彦 様	稲吉 隆浩 様	井上 聡 様	今井 明子 様
今井 一郎 様	岩瀬 貴子 様	上田 良治 様	植田 豊 様	牛田 和博 様	太田 千也 様
大西 文子 様	小笠原秀明 様	奥野 孝 様	落合 幸恵 様	梶田 重克 様	加藤 智洋 様
神谷 潤子 様	神谷 智子 様	川島佳代子 様	川島 美保 様	栗山 康介 様	黒川 景 様
釘持 一男 様	香田 晴慈 様	小林 晃 様	小林 信人 様	佐藤 睦 様	志賀 隆宏 様
島井 哲志 様	島崎 誠一 様	清水美代子 様	下村 友紀 様	神道 那実 様	鈴木 章人 様
田内真由美 様	高橋 克典 様	多賀谷眞弓 様	竹内 貴子 様	竹下 正明 様	立川 俊彦 様
巽 修二 様	田中美千子 様	千葉 朝子 様	永井 達也 様	永井 道子 様	長江 勝也 様
中尾 明子 様	中島 由英 様	中村 浩二 様	中村 卓 様	西片久美子 様	西川 大輝 様
丹羽 雅弘 様	橋村 富子 様	東野 督子 様	平野 二郎 様	平山 邦彦 様	福田由紀子 様
藤原 奈実 様	古澤亜矢子 様	堀田 登 様	前田 節子 様	水野 裕之 様	宮崎 豊三 様
宮田 昌彦 様	村上 憲久 様	村瀬 智子 様	森 久子 様	山下 恵 様	山田亜由美 様
山田 冬子 様	山本 和典 様	山本 章治 様	山本百合子 様	横江 幸一 様	吉岡 直樹 様
吉村 有未 様	渡邊 節子 様				(50音順)

【法人等】

愛知桐鳳会 様	M I D ファシリティマネジメント株式会社 様	タイガー総業株式会社 様
トヨタ記念病院 様	豊田厚生病院 様	豊田信用金庫 様
豊栄交通株式会社 様	松本テクノ株式会社 様	日本赤十字豊田看護大学後援会 様

【赤十字施設】

日本赤十字社愛知県支部 様	富山赤十字病院 様	金沢赤十字病院 様	福井赤十字病院 様
安曇野赤十字病院 様	飯山赤十字病院 様	諏訪赤十字病院 様	長野赤十字病院 様
岐阜赤十字病院 様	高山赤十字病院 様	静岡赤十字病院 様	浜松赤十字病院 様
名古屋第一赤十字病院 様	名古屋第二赤十字病院 様	伊勢赤十字病院 様	

2014年7月31日現在の本学への入金状況に基づき記載しております。
ご寄付の方法により、ご寄付から本学への入金までお時間がかかる場合がございます。
ただし、お名前の公表を希望されない方については掲載しておりません。

Information

日本赤十字豊田看護大学看護学部看護学科 平成27年度入学試験

試験の種類	募集定員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	選 抜 方 法
一般入学試験	50名	平成26年 12月12日(金)～ 平成27年 1月23日(金)必着	平成27年 1月31日(土)	平成27年 2月9日(月)	平成27年 2月10日(火)～ 2月17日(火)	学力試験 【必須科目】 国語総合(古文・漢文を除く) (配点:100点) 英語I・英語II (配点:100点) 【選択科目】 (配点:1科目100点) 次の①、②、③から1つを選択 ① 数学I・数学A ② 化学基礎・化学 ③ 生物基礎・生物 *旧教育課程履修者 「数学A」の出題範囲は「場合の数と確率」「図形の性質」、「数学I・数学A」は旧教育課程との共通範囲より出題、「化学基礎・化学」は旧教育課程「化学I」との共通範囲より出題、「生物基礎・生物」は旧教育課程「生物I」との共通範囲より出題。
大学入試センター試験利用入試	5名	平成27年 1月 5日(月)～ 平成27年 1月16日(金)必着	平成27年 1月17日(土)・ 18日(日) ※本学での個別試験は実施しない。	平成27年 2月9日(月)	平成27年 2月10日(火)～ 2月17日(火)	学力検査 【必須科目】 国語総合・国語表現I(近代以降の文章) (配点:100点) 英 語 (英語リスニングを除く) (配点:200点満点を100点満点に換算) 数学I・数学A (配点:100点) *旧教育課程履修者 旧数学I・旧数学Aを選択可能 【選択科目】 (配点:1科目100点) 理 科 次の①、②、③から1つを選択 ① 生物基礎・化学基礎 ② 生物 ③ 化学 *旧教育課程履修者 生物I、化学Iの2科目から1科目を選択

平成26年度公開講座(下半期)

講 座 名	日 時	内 容	担当領域	定員
シリーズ 不妊を学ぶ② ～妊娠力を高める 食事について考えよう!～	2回目: 平成27年2月14日(土) 13:30～16:45	「妊娠力を高める食事」について講座を行い、その後はアロママッサージ、不妊を経験された方のおはなし会を予定しております。	母性看護学	40名
子どもの体とところを 育む遊びの実践	平成27年3月7日(土) 10:00～11:30	遊びは、子どもの体とところの成長に必要な不可欠なものです。親子一緒に思いきり遊び、遊びの大切さについて考えましょう。遊んだ後の交流会では、日常的な困り事や心配事について話し合います。	小児看護学	30名
生活習慣を見直そう ～質の良い睡眠を促す工夫～	平成27年3月12日(木) 10:00～12:00	生活習慣を見直してみませんか。今回は「睡眠をテーマ」～一緒に考えていきましょう～	成人看護学	30名
体のアライメントを 整えよう	平成27年3月13日(金) 10:00～11:30	体の中の大半を占めている体幹には、人間が生きていく上で欠かせない重要な臓器が詰まっています。肋骨と骨盤、脊柱で形成される体の幹を整えて(アライメント)、健康な身体をつくりましょう。	基礎看護学	20名

平成25年度 消費収支計算書

平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日

消費収入の部 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金	908,640,000	908,860,000	△ 220,000
手数料	31,716,000	26,485,700	5,230,300
寄付金	19,765,000	26,040,316	△ 6,275,316
補助金	125,643,000	96,279,160	29,363,840
国庫補助金	125,600,000	96,238,000	29,362,000
地方公共団体補助金	43,000	41,160	1,840
資産運用収入	14,658,000	16,023,549	△ 1,365,549
事業収入	5,950,000	6,285,200	△ 335,200
雑収入	5,004,000	4,023,768	980,232
内部取引	2,594,000	3,814,103	△ 1,220,103
帰属収入 合計	1,113,970,000	1,087,811,796	26,158,204
基本金 組入額	△ 65,014,000	△ 46,957,573	△ 18,056,427
消費収入の部合計	1,048,956,000	1,040,854,223	8,101,777

消費支出の部 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	差 異
人件費	628,039,000	567,805,077	60,233,923
教育研究経費	436,510,000	412,674,133	23,835,867
管理経費	45,984,000	40,962,863	5,021,137
資産処分差額	0	5,338,742	△ 5,338,742
内部取引	16,472,000	17,762,543	△ 1,290,543
予備費	0	0	0
消費支出の部	1,127,005,000	1,044,543,358	82,461,642
当年度消費支出超過額	78,049,000	3,689,135	
前年度繰越消費収入超過額	336,075,000	806,993,282	
翌年度繰越消費収入超過額	258,026,000	803,304,147	

平成25年度の財務状況は、入退室管理システム、講義室プロジェクト更新整備、実習室モニタ新設整備等により78,049千円の支出超過予算でしたが、開学10周年による寄付金の増、また施設整備については、経費節減努力により安価で更新することができたこと、さらに人件費の減により支出超過額を74,360千円圧縮することができ、3,689千円の支出超過となりました。

編集 後記

紅葉美しい御嶽山が突然噴火し多数の方が犠牲になられました。心よりご冥福をお祈りいたします。突然の悲しい出来事に心身共に衰弱しておられる家族の皆さまを、日赤の長野県支部の看護師の方々がケアしているとの報道がありました。改めて、日赤の看護師の使命が思い起こされました。

いとすぎの丘Vol.20では、6月14・15日本学に於いて開催された第15回日本赤十字看護学会学術集会、学校祭、新入生合宿研修、イギリス語学研修などの話題に触れております。発行に際し、ご協力いただいた方々に感謝を申し上げます。

今後も赤十字の人道の精神を大切に活動をお伝えしていただけるようにいとすぎの丘にしたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

いとすぎの丘 Vol.20

発行日/2014年11月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

広報・公開講座委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <http://www.rctoyota.ac.jp/>